

2023年3月期 決算説明会

1. 当期決算の概要（連結）
2. 次期業績見通し
3. 中期経営計画の進捗状況

2023年5月17日

日本光電工業株式会社

証券コード：6849

<https://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics

 NIHON KOHDEN

1

当期決算の概要(連結)

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期 2022/3	当期 2023/3			対前期 増減率(%)
		期初予想	2月2日修正	実績	
売上高	205,129	195,000	208,000	206,603	0.7
国内売上高	136,321	130,500	135,000	135,734	△ 0.4
海外売上高	68,807	64,500	73,000	70,869	3.0
売上総利益 (売上総利益率)	109,085 53.2%	98,200 50.4%	105,200 50.6%	105,926 51.3%	△ 2.9
営業利益 (営業利益率)	30,992 15.1%	16,500 8.5%	19,000 9.1%	21,120 10.2%	△ 31.9
経常利益	34,563	16,500	20,500	24,122	△ 30.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,435	11,000	13,500	17,110	△ 27.0

← 為替影響除く: △12%

自社品 売上高比率	2022/3 72.7%	2023/3 72.4%
--------------	-----------------	-----------------

販管費 比率	2022/3 38.1%	2023/3 41.1%
-----------	-----------------	-----------------

為替差益:	2022/3 3,175百万円	2023/3 2,386百万円
-------	--------------------	--------------------

平均レート	(2022/3)	(2023/3)	(2023/3)	(2023/3)
1米ドル	111.3円	117円	134円	134.6円
1ユーロ	130.6円	130円	141円	141.0円

2) 当期の取り組み

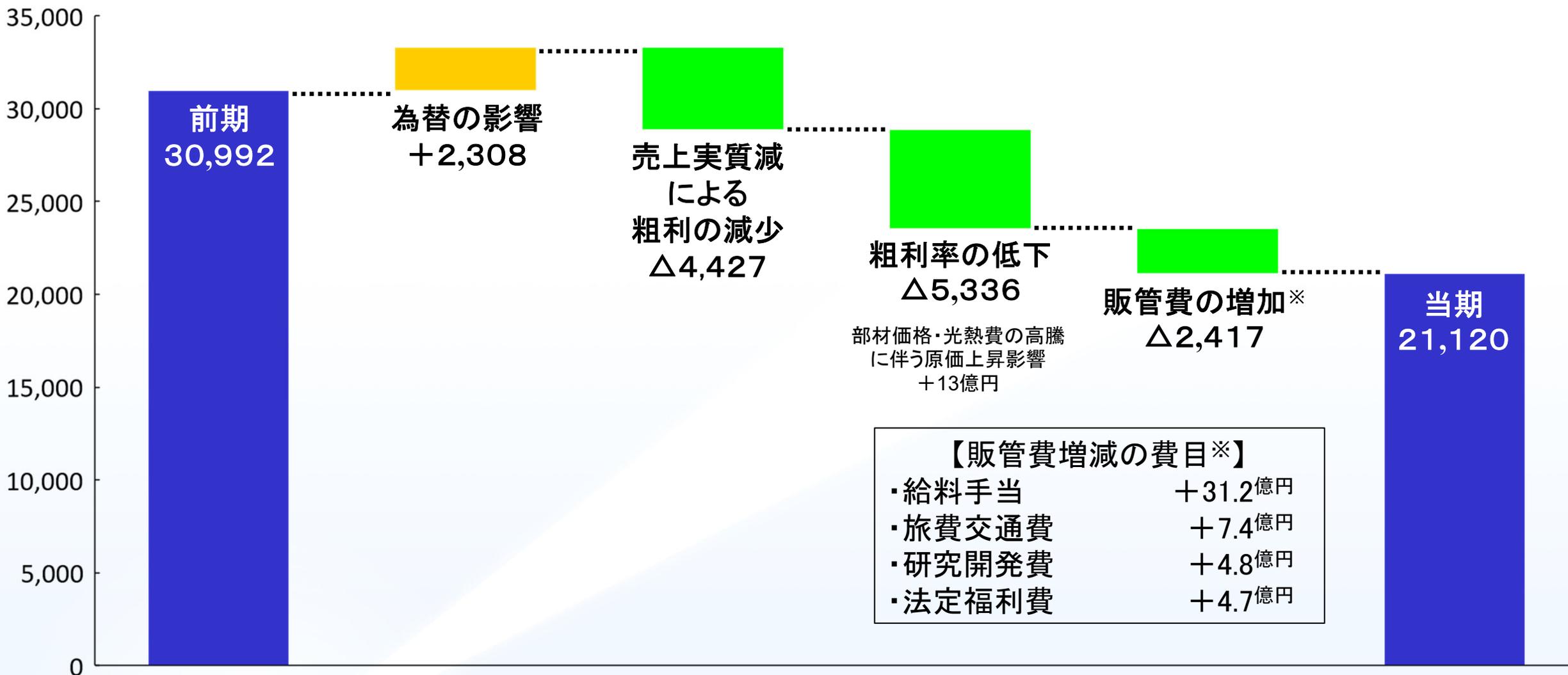
- ✓ 国内は、生体計測機器、検体検査装置の需要が回復、4Qでは増収回帰
- ✓ 海外は、上期は製品供給問題があったものの、下期では増収回帰
- ✓ 粗利率は部材価格等の上昇や商品ミックスの変化により低下、
販管費も人員の増強および営業・サービス活動の正常化に伴い増加

売上高は過去最高、営業利益も計画を上回って着地

	21/3期実績	22/3期実績		23/3期実績	24/3期目標値
海外売上高比率	31.3%	33.5%	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 円安効果 ✓ コロナ関連需要の反動、製品供給問題の影響を除くと増収 ✓ 検査・手術件数の回復により、カテーテル、センサ類が伸長 ✓ 部材価格等の上昇 ✓ 商品ミックスの変化 	34.3%	32.0%
消耗品・サービス売上高比率	43.0%	44.2%		47.3%	48%以上
売上総利益率	51.2%	53.2%		51.3%	50%以上
(ご参考) 自社品売上高比率	69.5%	72.7%		72.4%	

3) 営業利益増減の要因分析

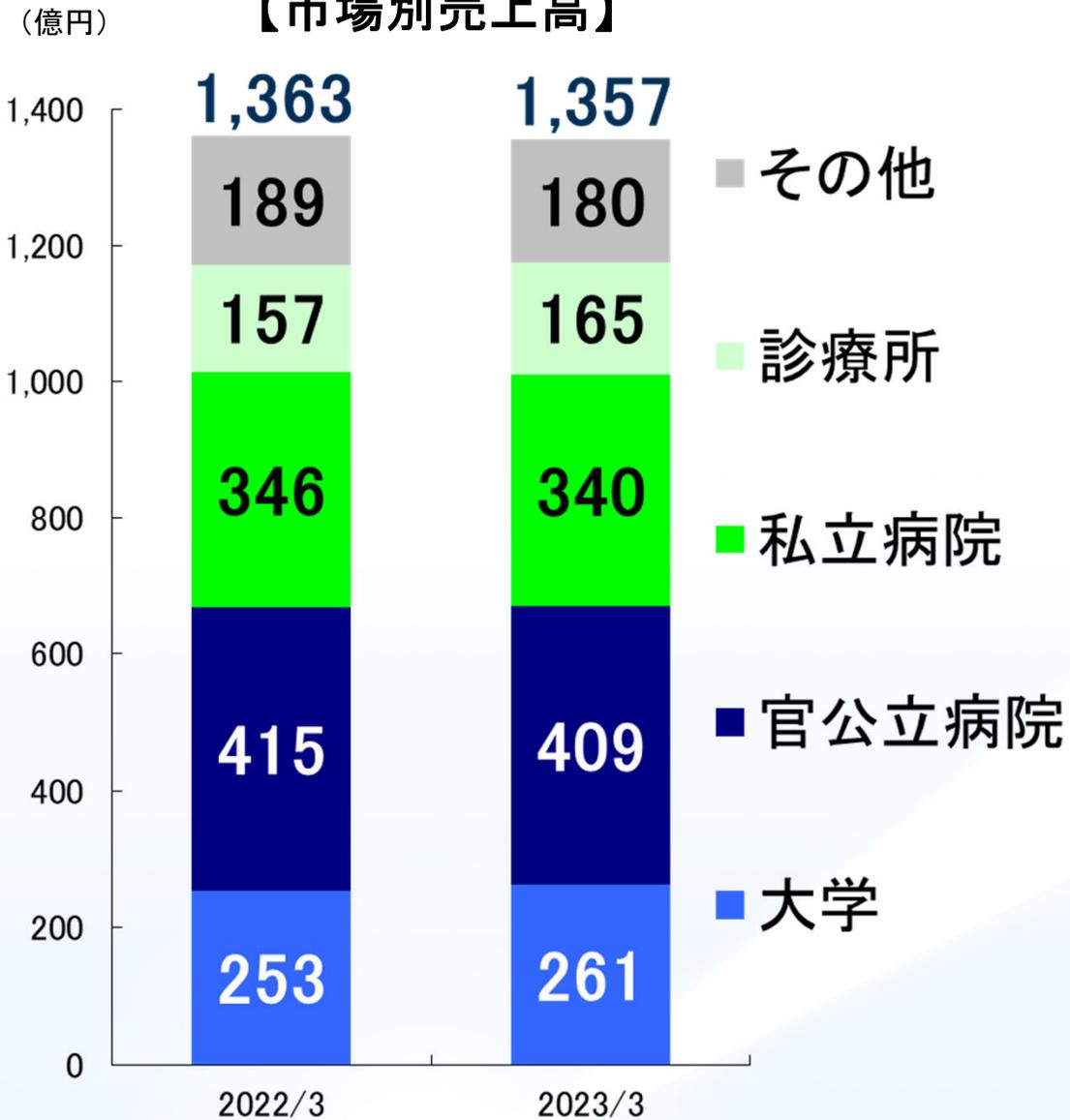
(単位:百万円)



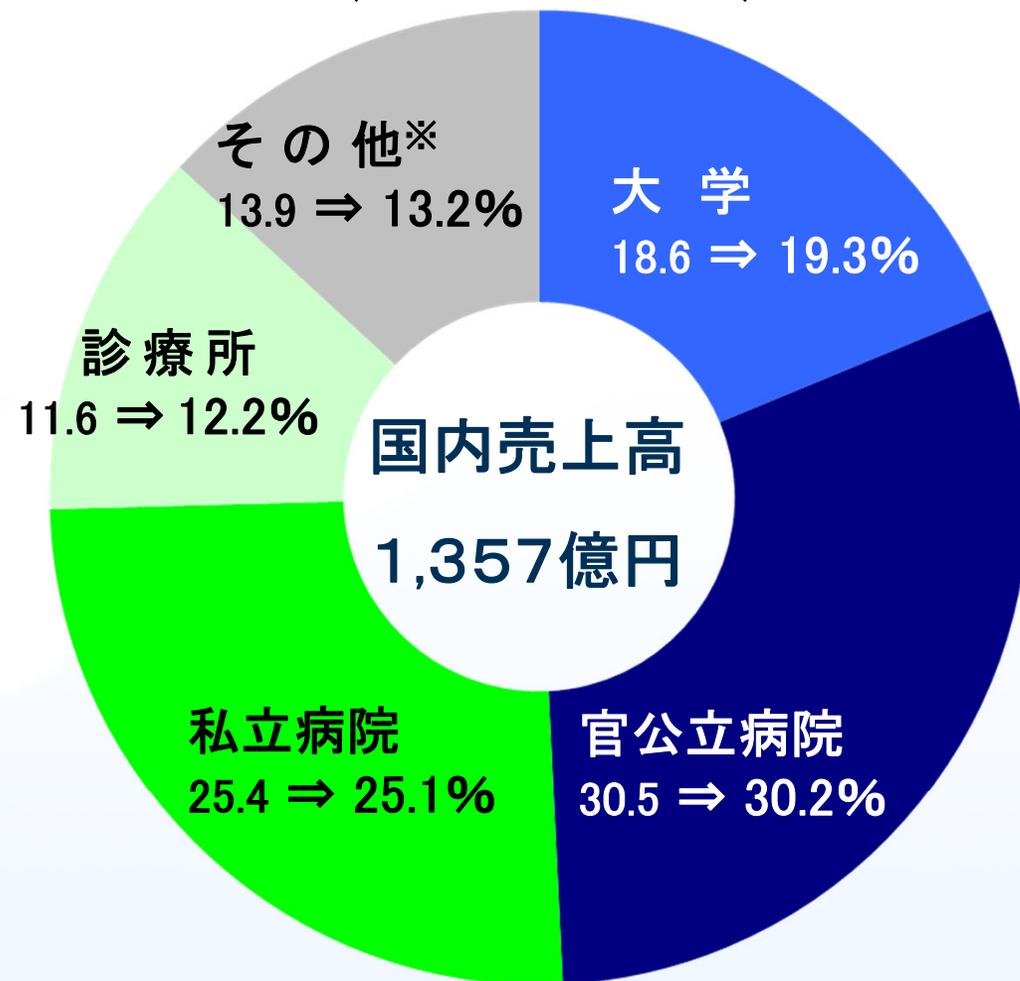
※2「販管費の増加」は為替の影響を除いた営業利益増減要因としての金額、「販管費増減の費目」は円建ての販売費及び一般管理費のうち主な増減金額を表しています。

4) 国内売上高

【市場別売上高】



市場別売上構成比
(2022/3⇒2023/3)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

【地域別売上高】

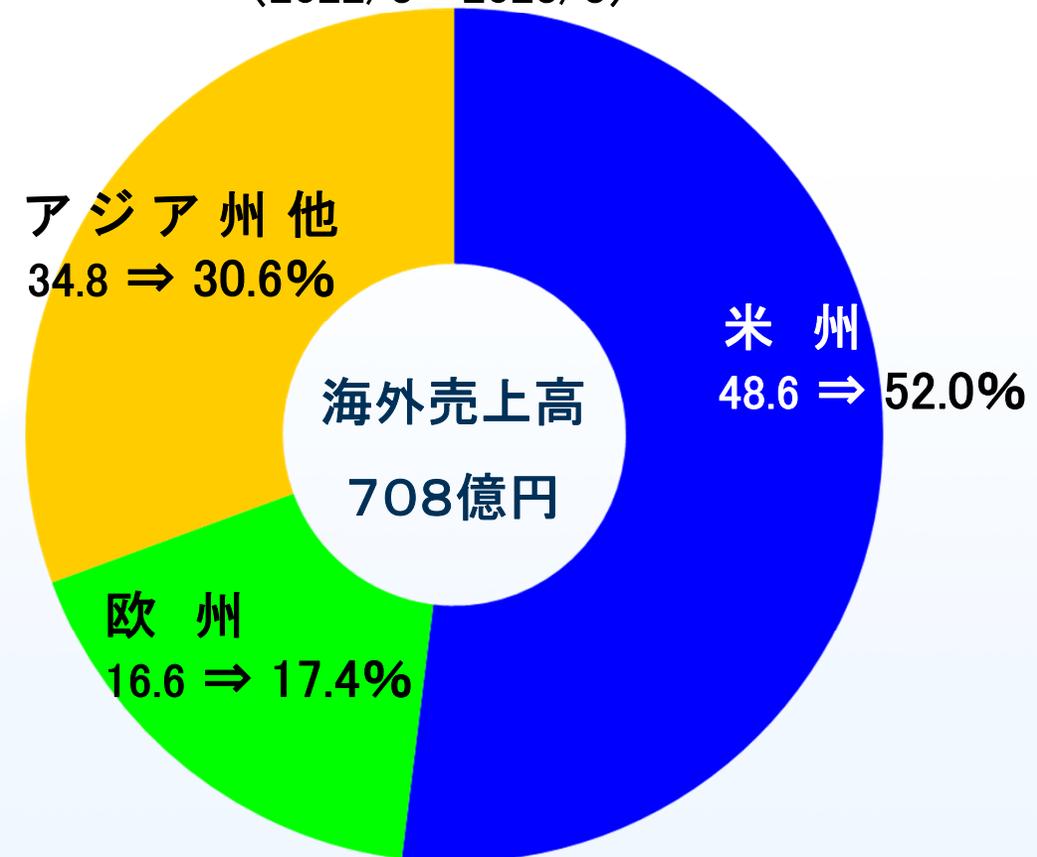
【海外売上高】

海外売上高比率

2022/3	2023/3
33.5%	34.3%

地域別構成比

(2022/3⇒2023/3)



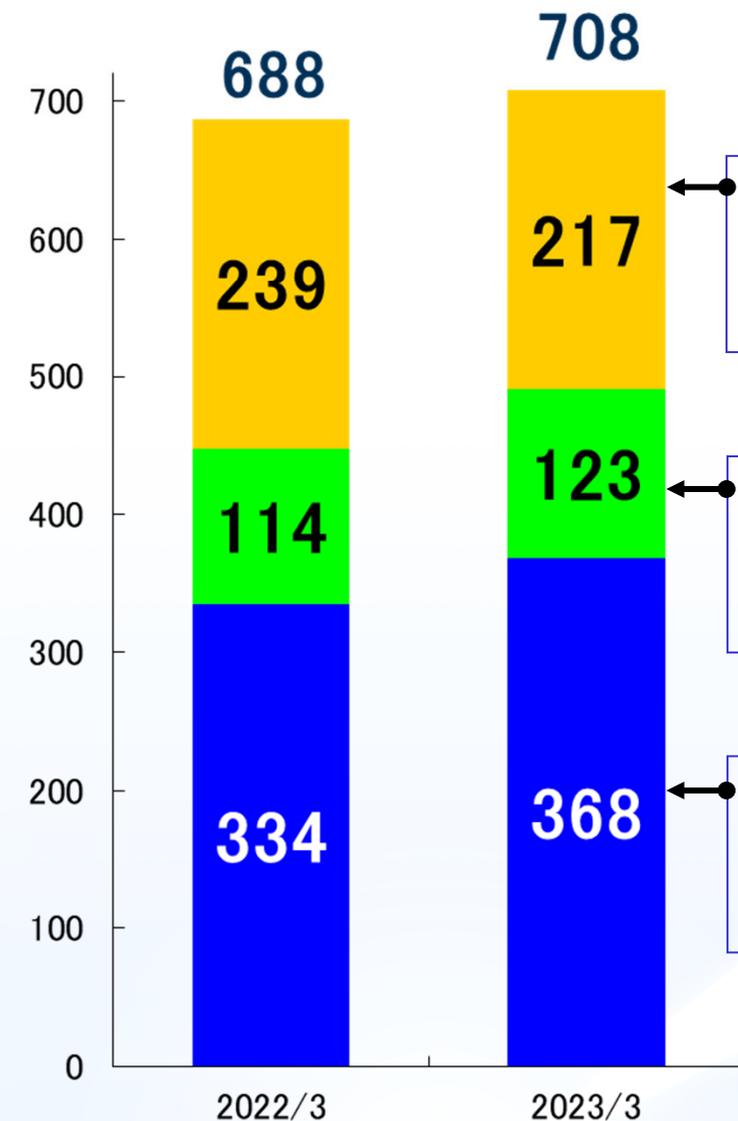
前期比+3%
(為替影響除く: Δ12%)

■ アジア州他
前期比Δ9%
(為替影響除く: Δ22%)

■ 欧州
前期比+8%
(為替影響除く: Δ2%)

■ 米州
前期比+10%
(為替影響除く: Δ9%)

(億円)

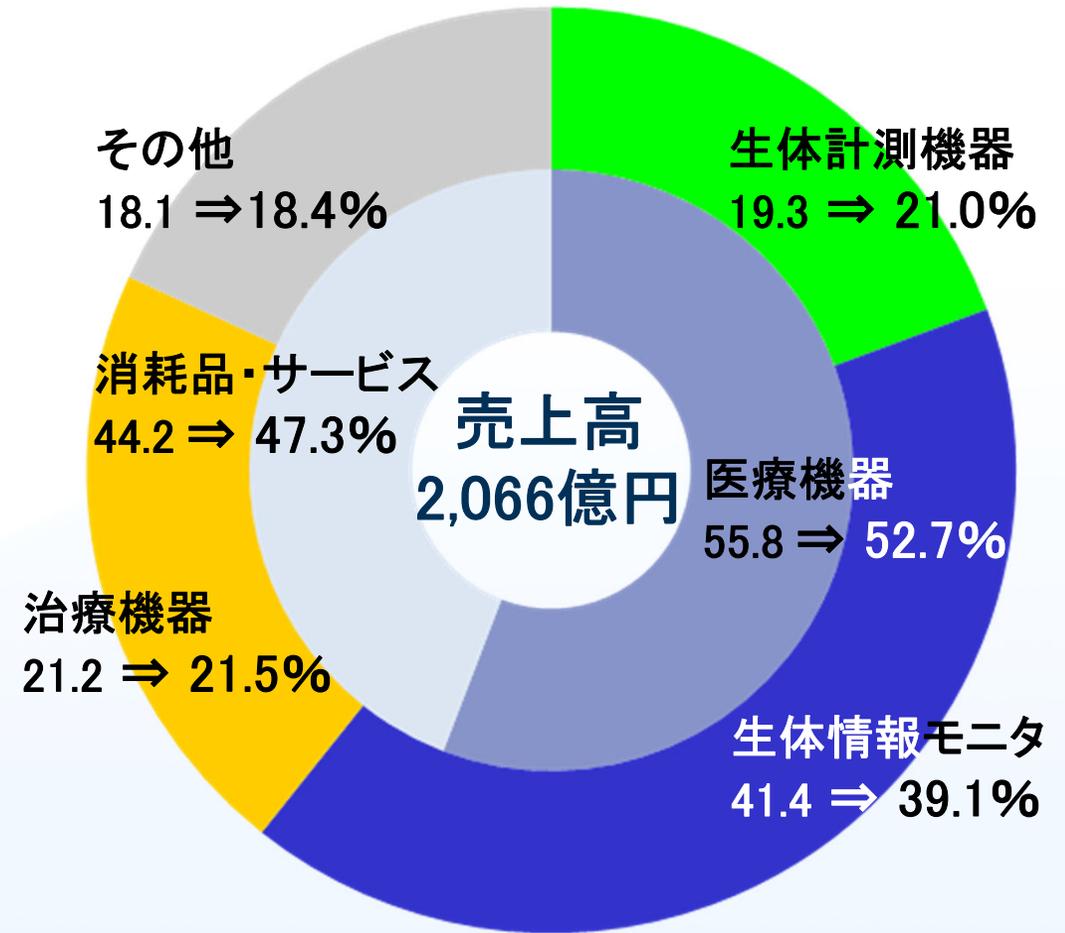


6) 商品群別売上高

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減率 (%)
生体計測機器	39,681 (47%)	43,287 (45%)	9.1
生体情報モニタ	84,860 (62%)	80,815 (62%)	△ 4.8
治療機器	43,388 (46%)	44,463 (45%)	2.5
その他	37,198 (47%)	38,036 (44%)	2.3
売上高合計	205,129 (53%)	206,603 (51%)	0.7

(単位:百万円)

商品群別売上構成比 (2022/3⇒2023/3)



(ご参考)

医療機器	114,552 (52%)	108,904 (51%)	△ 4.9
消耗品・サービス	90,576 (55%)	97,699 (51%)	7.9

※ 表の括弧内は、売上総利益率を示しています。

6.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減率(%)
脳 神 経 系 群	7,257	9,299	28.1
心 電 計 群	6,927	6,817	△ 1.6
心臓カテーテル検査装置群	13,451	16,026	19.1
その他(診断情報システム等)※	12,044	11,143	△ 7.5
生体計測機器合計	39,681	43,287	9.1
うち国内売上高	30,478	33,235	9.0
うち海外売上高	9,202	10,052	9.2

心臓カテーテル検査装置群、脳神経系群が二桁成長、心電計群も堅調に推移。診断情報システムは一部商談で納品の期ずれにより減収。

脳神経系群が米州、アジア州他で好調に推移。心電計群は上海ロックダウンによる現地生産への影響もあり、全ての地域で減収。

※その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計
EEG-1260



筋電図・誘発電位
検査装置 MEB-9600



心電計
ECG-3250



ホルター心電計
RAC-5000



臨床用ポリグラフ
RMC-5000



医療介護ネットワーク
システム LAV-1000



筋弛緩 EMG電極
NM-34シリーズ

消耗品関連

6.2) 生体情報モニタ

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減率(%)
生体情報モニタ合計	84,860	80,815	△ 4.8
うち国内売上高	48,241	45,606	△ 5.5
うち海外売上高	36,618	35,209	△ 3.8

(単位:百万円)

送信機、医用テレメータが好調だった前期を下回る。臨床情報システムは好調に推移、センサ類など消耗品も堅調。

前期の需要増加の反動により、全ての地域が現地通貨ベースで減収。米州、欧州は円安効果により前期を上回る。



CSM-1501 CSM-1502 CSM-1701 CSM-1702

ベッドサイドモニタ
CSM-1500/1700



スポットチェックモニタ
SVM-7200



医用テレメータ
WEP-1200



セントラルモニタ
CNS-2101



esCCO対応
SpO₂プローブ



cap-ONE
マスク



心電図
電極

消耗品関連

6.3) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減率(%)
医科向け除細動器	9,012	8,850	△ 1.8
A E D	16,750	20,068	19.8
ペースメーカー・ICD	2,498	2,310	△ 7.5
人工呼吸器	8,560	5,581	△ 34.8
その他	6,567	7,651	16.5
治療機器合計	43,388	44,463	2.5
うち国内売上高	27,069	25,834	△ 4.6
うち海外売上高	16,318	18,628	14.2

【国内】更新商談の受注により好調に推移。
 【海外】コロナ関連需要の反動もあり減収。

【国内】更新需要の谷間により前期を下回る。
 【海外】全ての地域で好調に推移。

【国内】【海外】前期のコロナ関連需要の反動により減収。

【国内】検査・手術件数の回復により、アブレーションカテーテルが好調に推移。

(参考) AED 販売台数	100,000台	118,600台	18.6
うち国内販売台数	51,000台	50,000台	△ 2.0



除細動器
EMS-1052



モバイル
AED-M100



オートショック
AED-3250



心臓ペースメーカー
Zenex MRI



人工呼吸器
NKV-550

NEW!



人工呼吸器
NKV-440



人工呼吸器
NKV-330

6.4) その他

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減率(%)
検体検査装置	10,594	11,534	8.9
画像診断装置他 [※]	26,604	26,501	△ 0.4
その他合計	37,198	38,036	2.3
うち国内売上高	30,531	31,057	1.7
うち海外売上高	6,667	6,979	4.7

(単位:百万円)

医療機器の設置工事・保守サービス、検体検査装置が好調に推移。現地仕入品は減収。

中南米、欧州で血球計数器・試薬の売上が大幅に伸長。

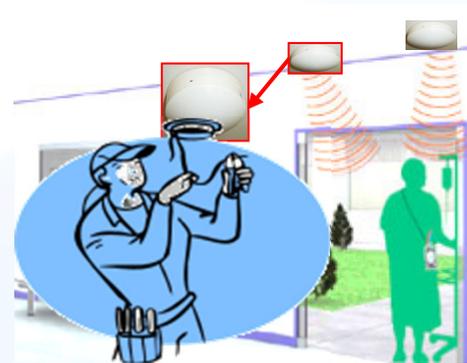
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-9200



全自動血球計数・
赤血球沈降速度測定装置
MEK-1305

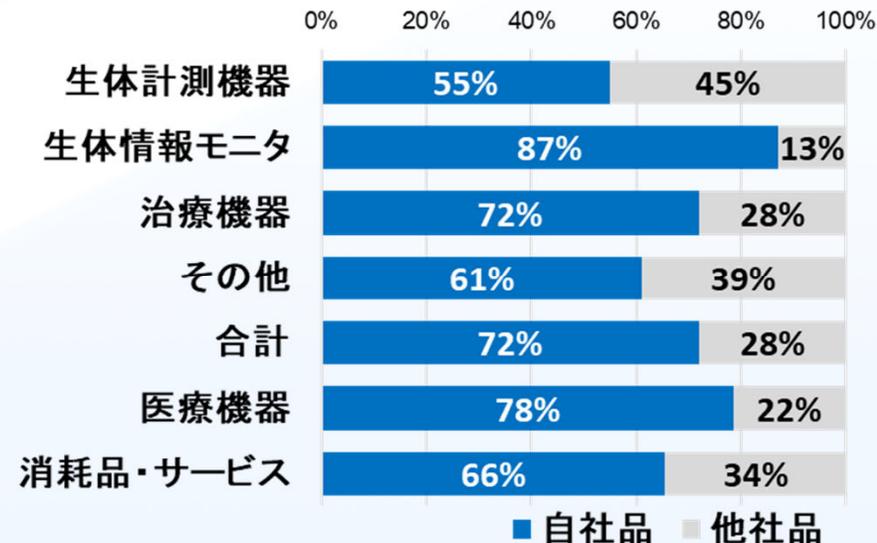
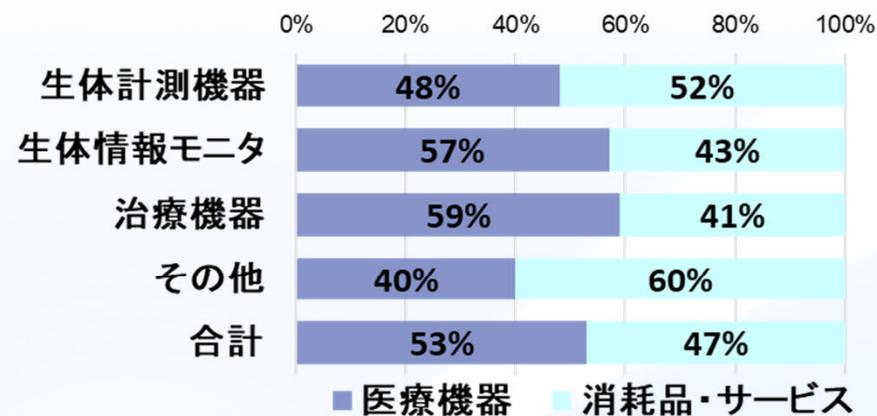


設置工事・保守サービス

[参考] 商品群別地域別売上高・構成比

(単位:億円、単位未満切捨て)

	合計	国内	海外			
			計	米州	欧州	アジア州他
生体計測機器	432 (+9%)	332 (+9%)	100 (+9%)	40 (+10%)	16 (+3%)	43 (+12%)
生体情報モニタ	808 (△5%)	456 (△6%)	352 (△4%)	235 (+1%)	42 (+2%)	73 (△19%)
治療機器	444 (+3%)	258 (△5%)	186 (+14%)	74 (+52%)	50 (+12%)	61 (△11%)
その他	380 (+2%)	310 (+2%)	69 (+5%)	16 (+22%)	13 (+20%)	39 (△5%)
売上高合計	2,066 (+1%)	1,357 (△0%)	708 (+3%)	368 (+10%)	123 (+8%)	217 (△9%)



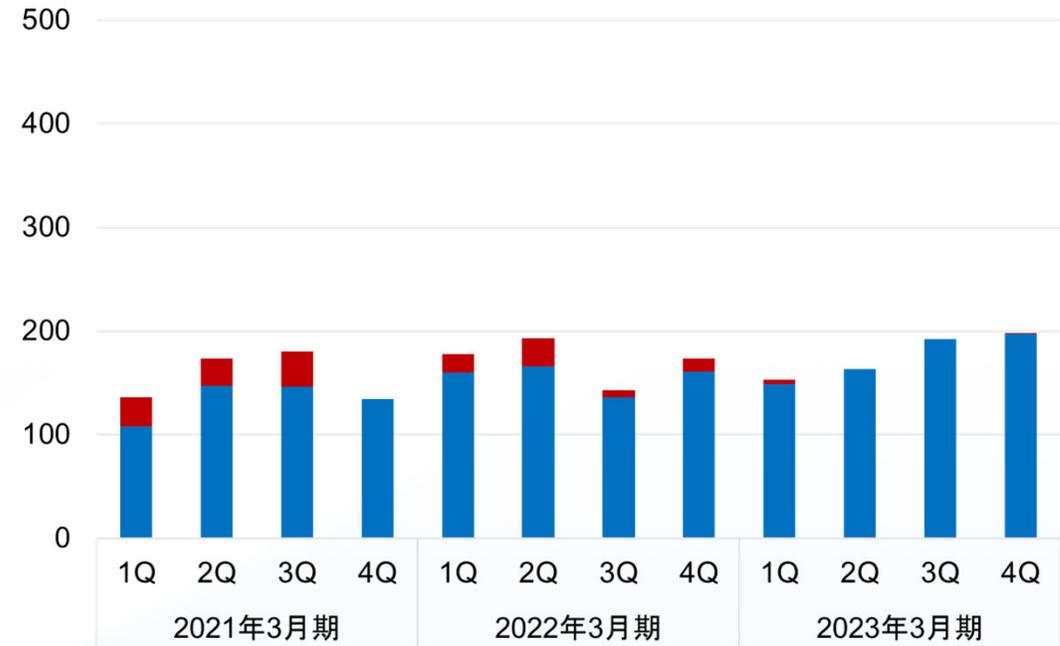
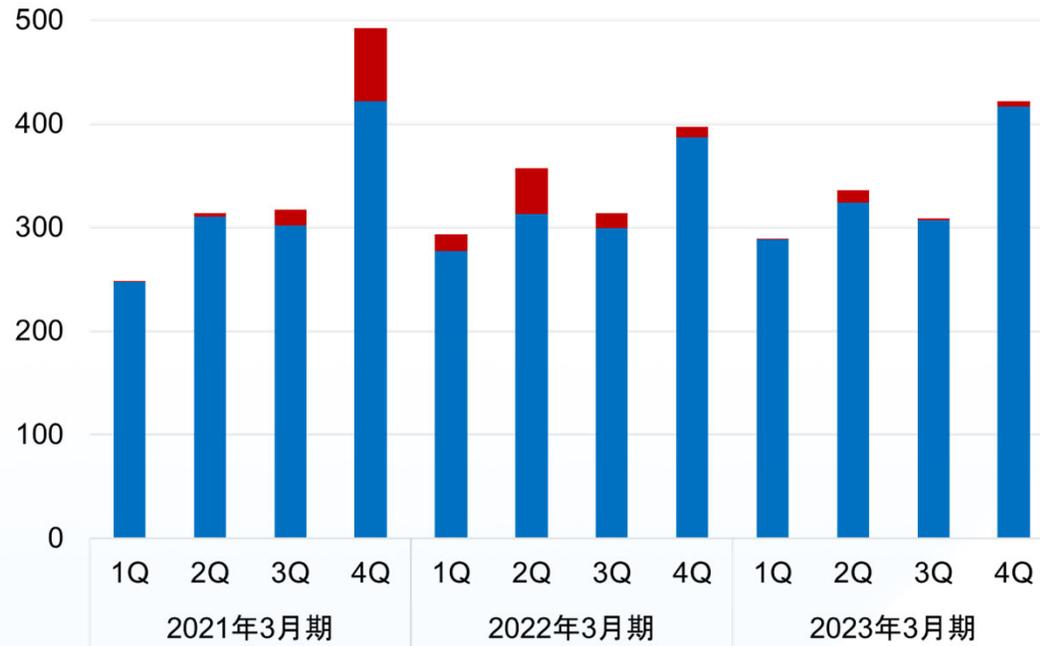
[参考] COVID-19関連需要(概算)

(単位:億円)

【国内売上高】

【海外売上高】

■ COVID-19関連
■ COVID-19関連以外



2023年3月期 COVID-19関連需要	国内		海外	
	金額	対前期増減	金額	対前期増減
生体情報モニタ	15億円程度	△45億円程度	3億円程度	△32億円程度
人工呼吸器	5億円程度	△20億円程度	1億円程度	△14億円程度
除細動器	—	—	1億円程度	△9億円程度
合計	20億円程度	△65億円程度	5億円程度	△55億円程度

7) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 2022/3	当期末 2023/3	増減額		前期末 2022/3	当期末 2023/3	増減額
流動資産	171,875	172,500	624	流動負債	50,804	46,568	△ 4,235
棚卸資産	48,367	58,790	10,423	有利子負債	325	403	78
有形固定資産	19,920	24,446	4,525	固定負債	3,016	2,555	△ 460
無形固定資産	3,737	4,221	484	純資産	156,381	167,604	11,223
投資その他資産	14,667	15,560	893				
資産合計	210,201	216,728	6,527	負債・純資産合計	210,201	216,728	6,527

棚卸資産回転月数	6.1ヵ月	7.0ヵ月		自己資本比率	74.4%	77.3%	
----------	-------	-------	--	--------	-------	-------	--

【棚卸資産の増加の理由】

- 部品供給ひっ迫に対応するため、在庫を積み増し + 104億円
(うち製品在庫+30億円、部品在庫+67億円)

【有形固定資産の増加の理由】

- インド試薬新工場建設 10億円
- 鶴ヶ島新工場用地取得 23億円

8) キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	前期 2022/3	当期 2023/3	増減額
I 営業CF	25,699	△ 2,513	△ 28,213
II 投資CF	△ 4,303	△ 7,647	△ 3,344
FCF	21,396	△ 10,161	△ 31,557
III 財務CF	△ 7,300	△ 7,485	△ 184
換算差額	1,643	1,539	△ 104
増減額	15,739	△ 16,107	△ 31,846
期末残高	60,095	43,988	△ 16,107

	2022/3	2023/3	増減
税金等調整前当期純利益	34,263	24,716	△9,547
売上債権の増減額(増加:△)	12,506	△4,753	△17,260
棚卸資産の総減額(増加:△)	△7,557	△8,590	△1,033
法人税等の支払額	△12,868	△10,322	+2,545
有形固定資産の取得による支出	△2,450	△7,458	△5,008
自己株式の取得による支出	△2,400	△1,001	+1,399
配当金の支払額	△4,842	△5,733	△890

ROE	15.9%	10.6%
-----	-------	-------

9) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 2022/3	当期 2023/3			増減額 (年度比較)	次期計画 2024/3
		期初計画	前回計画※	実績		
設備投資額	3,022	5,600	5,600	8,294	5,272	5,000
減価償却費	3,422	3,700	3,900	3,675	252	4,100
研究開発費	5,711	6,300	6,400	6,200	488	7,200

※2023/2/2 第3四半期決算発表時の予想数値
鶴ヶ島新工場用地取得費用 23億円は含まず

●設備投資の実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備、新工場用地取得

●2024/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備

インド 試薬新工場の建設 総投資額:約11億円 < 2023/3:10億円 2024/3:1億円 着工:2022年9月 完成:2023年夏 稼働開始:2024年夏予定

PLM/MES※システムの導入 設備投資額:約25億円 < 2023/3:3億円 2024/3~2026/3:22億円 PLM/MES:2026/3稼働予定

鶴ヶ島新工場の建設 総投資額:約90~110億円 < 2023/3:23億円(土地取得) 2025/3:約65~85億円 着工:2024年春 完成:2025年春 稼働開始:2026年予定

※PLM(Product Life-cycle Management):製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System):製造実行システム。

2

次期業績見通し

1) 経営環境

欧米での金融引き締めにより世界経済が減速傾向
インフレと人件費の上昇による医療機関の経営への影響を注視

国内

新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築、集中治療体制の強化

- 2023年5月～COVID-19の5類感染症移行に伴い、診療報酬上の特例措置、補助金は段階的に縮小 (2023年9月末予定)

医療機能の分化・連携、地域包括ケアシステムの推進

- 地域医療介護総合確保基金 2023年度1,029億円(医療)

2024年度からの働き方改革に向けた取り組みが本格化、各都道府県は第8次医療計画を策定

海外

欧米諸国

- 看護師不足の深刻化や金利上昇に伴い、医療機関の経営悪化が顕在化
- 医療のDXが加速、医療の質と効率性の向上

新興国

- 国産優遇、保護主義の動きを注視
- 医療機器に関する規制強化への対応

2) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	当期実績 2023/3	次期予想 2024/3	増減率 (%)
売上高	206,603	215,000	4.1
国内売上高	135,734	139,500	2.8
海外売上高	70,869	75,500	6.5
売上総利益 (売上総利益率)	105,926 51.3%	109,000 50.7%	2.9
営業利益 (営業利益率)	21,120 10.2%	21,500 10.0%	1.8
経常利益	24,122	21,500	△ 10.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,110	14,500	△ 15.3
海外売上高比率	34.3%	35.1%	

← 為替影響除く: +12%

【地域別海外売上高】

	当期実績 2023/3	次期予想 2024/3	増減率(%)
米州	36,818	40,200	9.2
欧州	12,349	11,700	△ 5.3
アジア州他	21,701	23,600	8.7
海外計	70,869	75,500	6.5

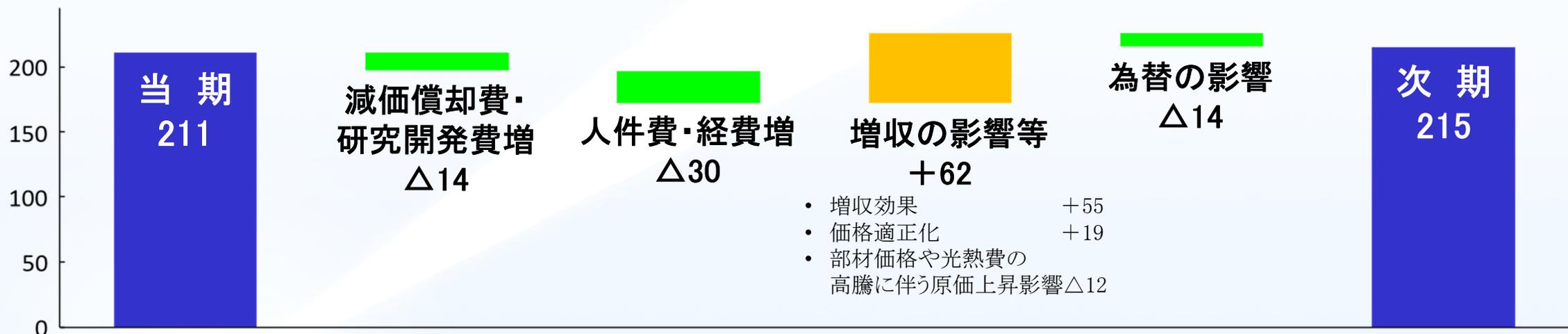
3) 次期業績見通しの要因分析

【売上高】

(単位:億円)



【営業利益】



[参考]商品群別売上高見通し/為替の影響

	当期実績	次期予想		増減率(%)
	2023/3	2024/3	構成比(%)	
生体計測機器	43,287	44,100	20.5	1.9
生体情報モニタ	80,815	83,400	38.8	3.2
治療機器	44,463	48,200	22.4	8.4
その他	38,036	39,300	18.3	3.3
売上高合計	206,603	215,000	100.0	4.1

(単位:百万円)

(ご参考)

医療機器	108,904	113,000	52.6	3.8
消耗品・サービス	97,699	102,000	47.4	4.4

平均レート

	当期実績 2023/3	次期予想 2024/3
1 米ドル	134.6円	125円
1 ユーロ	141.0円	139円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	4.1億円	1.3億円
ユーロ	0.6億円	0.2億円



BEACON
2030
Phase III

3

中期経営計画の進捗状況

長期ビジョンと中期経営計画

病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に社員の豊かな生活を創造する

経営
理念



illuminating Medicine for Humanity

グローバルな医療課題の解決で、人と医療のより良い未来を創造する

2030年3月期
目標水準

営業利益率 15% 海外売上高比率 45%

長期ビジョン

2027/4-2030/3 **BEACON 2030** Phase III : 長期ビジョンの実現

2024/4-2027/3 **BEACON 2030** Phase II : 成長への投資

2021/4-2024/3 **BEACON 2030** Phase I : 基盤の強化

中期経営計画

グローバル共通価値基準

経営理念・長期ビジョン・中期経営計画の推進に必要な
世界中の社員をつなぐ共通の価値観

Integrity / Humbleness / Diversity / Initiative / Customer Centric / Goal Oriented / Creativity

中期経営計画 基本方針

事業と企業活動を通じてサステナビリティを推進

経営

コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化により、経営基盤を強化する。

事業

既存事業の収益性を改善することで得た原資により、戦略的な先行投資を実施し、新たな成長への種を蒔く。

組織

グローバルSCMの構築とコーポレートの主要機能の強化により、グローバル成長の礎を築く。

※SCM:サプライチェーンマネジメント

経営

コンプライアンス

- ✓ 再発防止策を継続
 - 寄附金ウェブ申請
 - ディーラー向けウェブシステム
 - コンプライアンス研修

ガバナンス

- ✓ グローバル経営管理ポリシーの運用定着
- ✓ 全社的リスク管理体制の高度化を推進

事業

収益性の改善

- ✓ 顧客価値の高い自社製品
- サービスの投入



DHS事業の推進

- ✓ イタリア Software Team 社を買収
- ✓ 遠隔ICU構想の検証を開始

組織

グローバルSCM

- ✓ 全海外販売子会社との基幹システム連携が完了
- ✓ PLM/MES※1システム導入に着手

コーポレート主要機能

- ✓ 最新の医療機器規制に対応
- ✓ PSIRT※2を発足

※1 PLM (Product Life-cycle Management): 製品ライフサイクル管理、MES (Manufacturing Execution System): 製造実行システム。

※2 PSIRT (Product Security Incident Response Team): 製品・サービスのセキュリティ向上・インシデント対応チーム。

経営目標値・最終年度予想

2024/3 経営目標値

1米ドル102円・1ユーロ124円

2024/3 予想

1米ドル125円・1ユーロ=139円

4カ年
CAGR

+3.8%

+0.9%

+10.5%

+8.5%

【海外地域別売上高】

	2024/3 経営 目標値	2024/3 予想	4カ年 CAGR
米州	320	402	+12.9%
欧州	100	117	+6.6%
アジア州他	210	236	+12.2%

売上高

1,970億円

2,150億円

国内売上高

1,340億円

1,395億円

海外売上高

(海外売上高比率)

630億円

(32.0%)

755億円

(35.1%)

消耗品・サービス売上高比率

48%以上

47.4%

売上総利益率

50%以上

50.7%

営業利益

(営業利益率)

200億円

(10.2%)

215億円

(10.0%)

親会社株主に帰属する

当期純利益

138億円

145億円

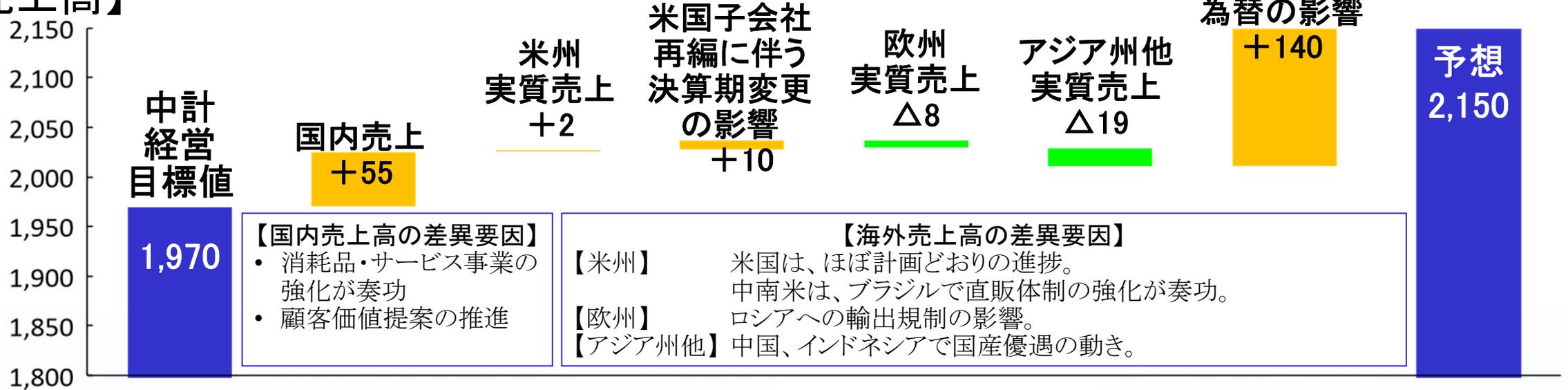
ROE

10%

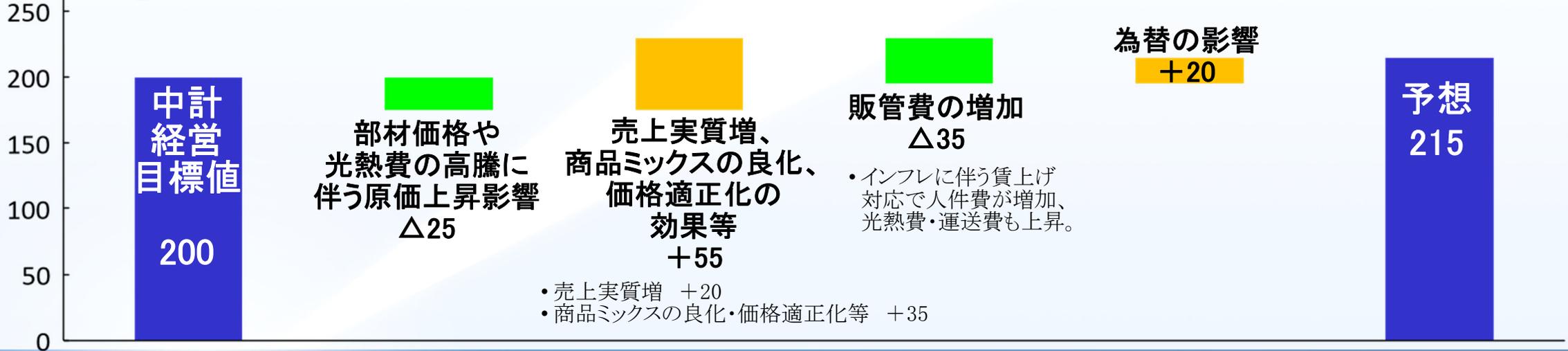
経営目標値・最終年度予想の差異

(単位: 億円)

【売上高】



【営業利益】



粗利率50%以上、営業利益率10%以上を定常的に確保できる企業体質への変革を実現

COVID-19感染拡大

- ・生体情報モニタ、人工呼吸器等の需要増加
- ・営業・サービス活動の制限



資本コストを意識した経営の実践へ

2024/3期 ROE10%確保に向けて

投資判断基準にNPV・IRRを採用

19/3期～毎年取締役会で資本コストを把握

- ・負債が少ないため、CAPMで把握(5%前後)

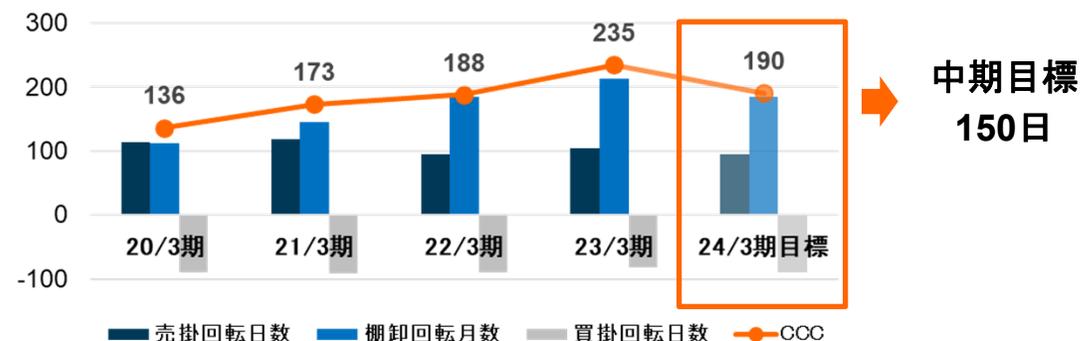
23/3期～投資判断基準に**NPV・IRR採用**、
新規投資案件の評価を開始

- ・資本コストを保守的に6%と設定
- ・IRR10%を目標、
事業戦略・中期経営計画をふまえ投資判断
- ・一定額を超える投資案件の場合、投資後の進捗状況、効果は毎年取締役会で検証

※ CAPM(Capital Asset Pricing Model):資本資産価値モデル
NPV(Net Present Value):正味現在価値
IRR(Internal Rate of Return):内部収益率

運転資本の改善

キャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮



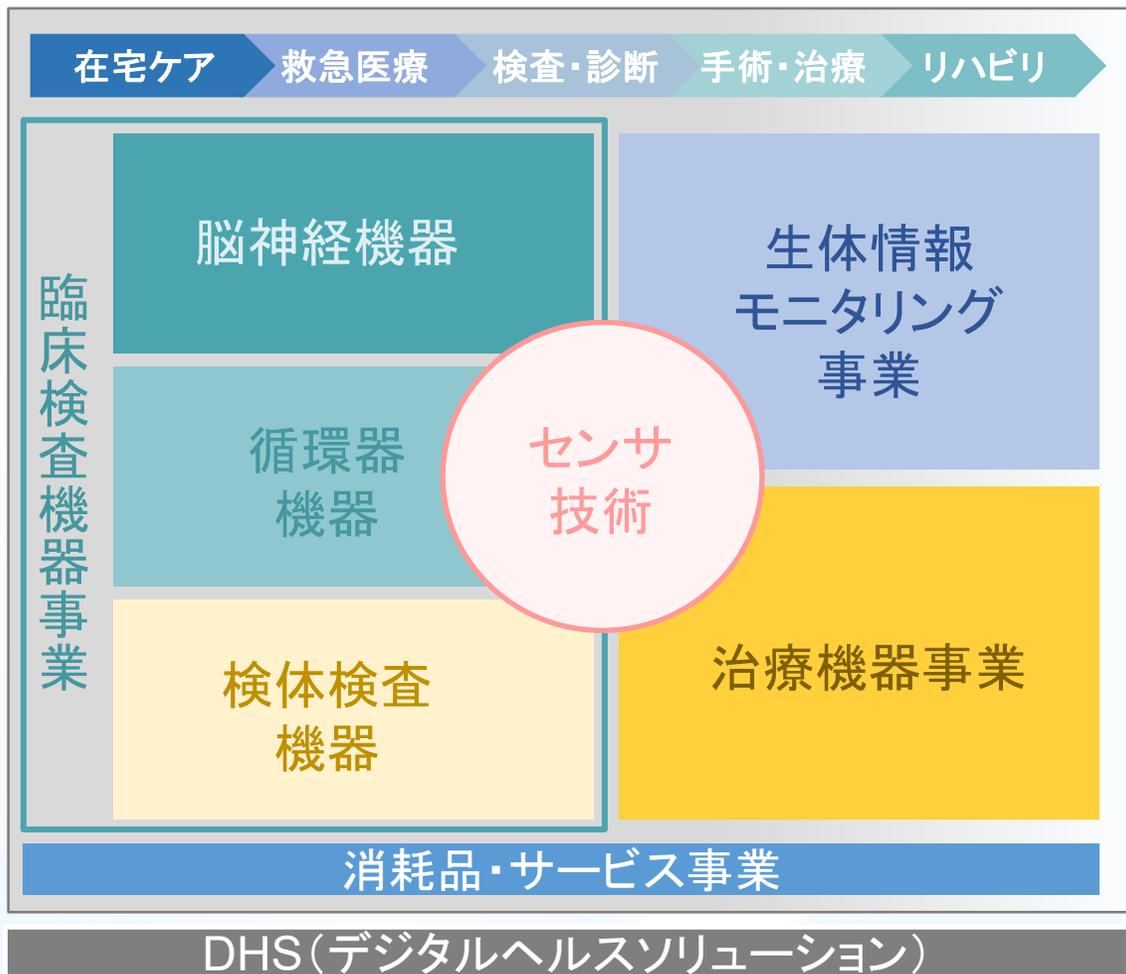
24/3期目標:190日(22/3期水準)

- ・21/3期以降、コロナ禍・半導体の需給ひっ迫対応のため、一時的に在庫を積み増し
- ・半導体不足解消見込みにより、在庫管理を強化

中期目標:150日

- ・事業継続の観点から、コロナ前より在庫を多めに確保

既存事業における収益性の改善



全事業共通施策

高い顧客価値の創造

- ・デジタルヘルスの推進
- ・サイバーセキュリティ対応
- ・医療機器リモート監視システム (MD Linkage) の拡充

生産性の向上

- ・新たな共通設計プラットフォームの構築
- ・標準化・共通化の推進
- ・ライフサイクルマネジメントの徹底

タイムリーな製品投入

- ・世界最高品質の追求
- ・開発体制、QA/RA体制の強化

高収益体質の実現

DHS(デジタルヘルスソリューション)構想の推進

医療課題

✓ 看護師不足

✓ アラームの見逃し・疲労

✓ 診断・治療の遅れ

✓ 医療経済性

アラームマネジメント

SOFTWARE TEAM

2022年11月買収



- 生体情報モニタ等のアラーム情報をスマートフォン等に転送
- 欧州・中近東等で共同プロモーションを開始

ダッシュボード



救急救命センター・ICU

遠隔診療



分院・二次救急

NEW!

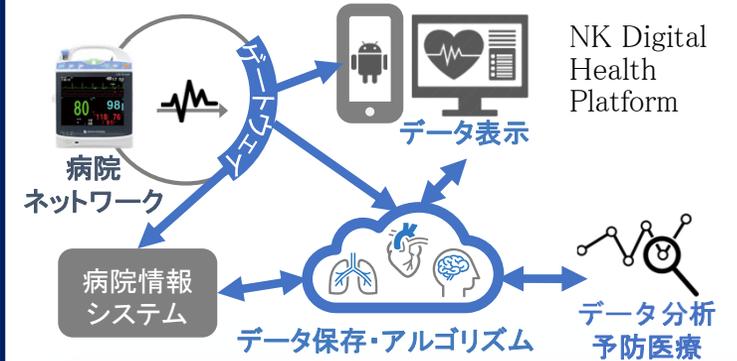
バイタルサインデータ

セントラルモニタ

バイタルサインから算出したスコアで、患者さんの状態変化の監視を支援

バイタルサイン
統合指標ソフトウェア
2022年度発売

データプラットフォーム



AMP3D

2021年8月買収

CoMET®: Continuous Monitoring of Event Trajectories 患者容態管理のためのアルゴリズム・ソフトウェア



2022年度
FDA申請

2023年4月
AIに関する新ルール施行に伴い、一旦取り下げ、再計画中

創出を目指す
ソリューション

医療従事者の
業務負荷軽減

医療インシデント
の低減

患者アウトカム
の向上

医療経済性
の向上

治療機器事業

医療課題

✓ 麻酔科医の不足

✓ 医師の長時間労働

✓ 適切な薬剤投与

麻酔器

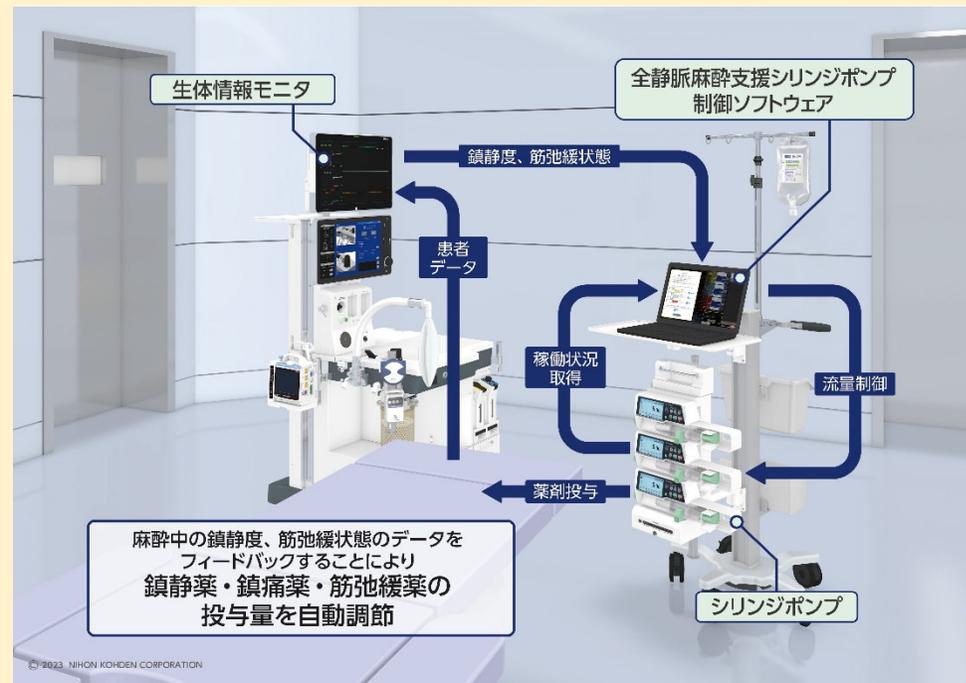
全静脈麻酔支援シリンジポンプ制御ソフトウェア

- 生体情報モニタで取得したバイタルデータ(BIS、TOF)を活用し、シリンジポンプによる麻酔薬(鎮静薬・鎮痛薬・筋弛緩薬)の投与を自動調節
- 関連学会が、使用に関するトレーニングなどの適正使用指針を策定中

2022年9月
国内承認取得

2023年度
国内発売予定

※ BIS (Bispectral Index) : 脳波等を解析することで算出される麻酔深度・鎮静度を表す指標。
TOF (Train-of-four stimulation) : 4つの電気刺激により筋弛緩の状態を評価。



創出を目指す
ソリューション

医療従事者の
業務負荷軽減

医療インシデント
の低減

患者アウトカム
の向上

治療機器事業

- ✓ 自社製人工呼吸器の新製品、院内搬送可能な気管挿管型モデルを投入

人工呼吸器

Treasure Every Breath.®

NKV-550



気管挿管型

米国開発

米国生産

- 多機能、高度な精確性
- 肺保護Apps
- 病室外からの操作が可能

NKV-440 中位機種モデル

NEW!

2022年12月
タイでLimited
Market Release
2023年1月 アラブヘルス



気管挿管型

米国開発

米国生産



【新興国】
ICU向けの
主力機種

【先進国】
救急、一般病棟、
院内搬送向け

- 肺保護Apps
- タービン駆動により、
空気配管への接続が不要
- 小型・軽量化、交換可能な
長時間電池を搭載

NKV-330



マスク型

日本開発

日本生産

NEW!

米国生産

2022年度発売

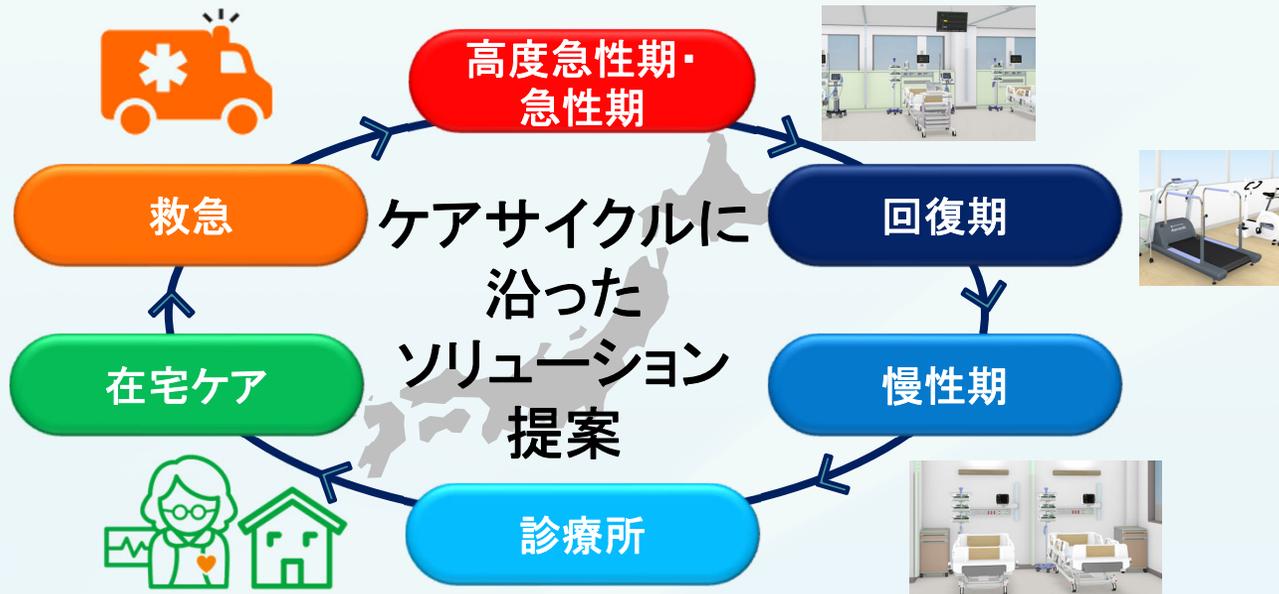
- マスク換気専用モデル
- SpO₂/CO₂モニタリング
- コンパクトで移動が簡便

グローバル事業における戦略強化

日本：医療の質向上、医療課題の解決に向けたソリューション提案を強化

✓ 顧客価値提案の強化

医療安全 診療実績 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充



✓ 医師の働き方改革や医療情報のデジタル化に資するソリューションの提供

PrimeGaia
臨床情報システム



PrimeVitaPlus[®]
診断情報システム



バイタルサイン
統合指標ソフトウェア
2022年度発売

NEW!

全静脈麻酔支援
シリンジポンプ制御
ソフトウェア
2023年度発売予定

✓ 製品ラインアップの拡充

医用テレメータ
新機種
2023年度発売予定

自動心臓
マッサージ装置
2023年度発売予定

米国：子会社7社の統合と融合による米国事業のさらなる成長

✓ 製品ラインアップの拡充

NEW!

中位機種ベッドサイドモニタ



2022年度発売
CSM-1500シリーズ
CSM-1700シリーズ

生体情報モニタ

市場シェア目標
12%



脳神経機器



治療機器

脳神経機器

睡眠記録装置

2023年度発売予定

救急蘇生機器



NEW!

自動心臓
マッサージ装置
ARM XR ACC
2023年度発売

人工呼吸器



NEW!

NKV-330
米国生産
2022年度発売

中位機種 NKV-440

2022年度FDA申請

NEW!

2022年度4Q
GPOのプレミア社と
契約締結
2023年度1Q
会員約4,400病院に
販売開始

✓ 米国子会社を再編、持株会社体制へ移行 (2023年4月)

ガバナンス・
事業基盤の強化



子会社間の
シナジー創出



※GPO: Group Purchase Organization グループ購買組織

新興国：日本・米国製、上海製の新製品の提案を強化

日本・米国製品

救急

除細動器



EMS-1052

自動心臓
マッサージ装置



ARM XR ACC
2023年度発売

NEW!

ハイエンド市場

セントラルモニタ
CNS-2101
2023年度発売予定

ベッドサイドモニタ



CSM-1500/1700シリーズ

ICU

人工呼吸器



NKV-330

人工呼吸器



NKV-550

NEW!

人工呼吸器



NKV-440
2022年度発売

ベッドサイドモニタ



PVM-4000

血球計数器



MEK-9200
2021年度発売



MEK-1301/02

血球計数・
赤血球沈降速度
測定装置



MEK-1305

血球計数・
免疫反応測定装置



MEK-1303+HbA1c^{※2}
2022年度発売

NEW!

上海製品

現地開発・生産

ミドル&ローエンド市場

心電計



ECG-3150/3350

心電計



ECG-3250
2022年度発売

NEW!

スポットチェック
モニタ



SVM-7100

ベッドサイド
モニタ



SVM-7500

上海開発
ベッドサイド
モニタ

2023年度
発売予定

中国市場向け現地生産

検体自動搬送システム



白血球5分類とCRP^{※1}を測定

除細動器



TEC-5600

AED



AED-3100

ベッドサイド
モニタ



BSM-3000

血球計数器



MEK-9100

東南アジアでの組織再編

- ✓ フィリピン支店を開設 (2023年1月)

医療機器の製品登録
(CMDN)に対応

- ✓ NKSバンコクが
日本光電タイランドに社名変更 (2023年4月)

代理店
サポート



ダイレクト
マーケティング

※1 CRP(C-Reactive Protein):C反応性蛋白。 ※2 HbA1c:ヘモグロビンA1c。



サステナビリティの推進



マテリアリティ

KPI

事業を通じて 解決を目指す課題	アクセシブル	AEDへのアクセス拡大による蘇生率の向上	累計/年間グローバルAED販売台数 日本・米国におけるAED利用率
		新興国の医療従事者への教育機会の提供	インドネシアにおけるてんかん診療教育の推進 オンライン教育プログラムを含むセミナー開催国数、回数、受講者数
	インテリジェント	医療機器の自動制御	ロボット麻酔システムへの研究開発投資 人工呼吸器のクローズドループ制御への研究開発投資
		患者さんにやさしいセンサの開発・提供	新規センサへの研究開発投資 esCCO、導出18誘導心電図、iNIBP搭載機種販売台数
	患者視点	アラーム高度化による静かな医療環境	アラーム高精度検出技術への研究開発投資 アラームレポートの活用により運用が改善した医療機関数（日本・米国）
		心不全や脳疾患感染症ケアへの貢献	病状悪化の早期警告スコアへの研究開発投資 心不全ケアに向けた新規パラメータとアルゴリズムへの研究開発投資
	コネクテッド	遠隔監視を用いた製品稼働率向上	MD Linkage接続機種・台数 機器トラブルの事前通知件数
テレメディスンによる医療格差の解消		LAVITA等ネットワーク対応型製品の設置台数 集中治療の遠隔支援実現に向けた研究開発投資	
最適化			

- 【2023/3期の主な取り組み】
- ✓ サステナビリティ・ディスカッションをグローバルで実施（全28回、約3,000名参加）
 - ✓ TCFD提言に基づく情報開示
 - ✓ 人権影響評価、人権リスク評価を実施、重要人権課題を特定

企業活動を通じて 解決を目指す課題	人権・人財	医療への貢献にやりがいと誇りを持つ組織風土の醸成	従業員満足度 グローバルに活躍できる人財の育成
	品質	バリューチェーン全体で世界最高品質を追求	ネットプロモータスコア リコール件数
	ガバナンス	コンプライアンスの徹底とグループガバナンスの一層の強化	グループ全体でのコンプライアンス・プログラムの運用確立と強化 グローバル経営管理ポリシーの確立と海外拠点への浸透 国内販売における内部統制システムの強化
	環境	脱炭素社会の実現	CO ₂ 排出量 環境配慮型製品の機種数、該当製品売上比率 製品・部品の廃棄量

- 【2024/3期の主な取り組み】
- ✓ 環境配慮型製品の開発を推進、規定の整備
 - ✓ CO₂排出量のSBT設定に向けた取り組みを具体化

※ SBT (Science Based Target) : パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先 を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標。

マテリアリティKPIの実績は、7月にウェブサイトに掲載予定

利益配分の基本方針

利益配分の優先順位は、①将来の企業成長に向けた投資、②配当、③自己株式取得

①将来の企業成長 に向けた投資

- デジタルヘルスソリューションを新規事業と位置付けて積極投資
- コーポレートDX推進、グローバルSCM構築のための設備投資

研究
開発



設備
投資



M&A
提携



人財
育成



②配当

長期安定配当を
継続

目標:連結配当性向
30%以上

年間配当金

23/3期:61円 (配当性向 30.0%)

24/3期:61円 (配当性向 35.4%)

③自己株式取得

今後の事業展開、投資計画、
内部留保の水準、株価の推移等を
総合的に考慮し、機動的に検討

自己株式保有:
410万株
(持株比率:4.7%)

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

また、この資料に含まれている製品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告を目的としているものではありません。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003